

2015/04/01

関係各位

Far East Group

会長 大嶋 謙嗣

・・・伝えたいのは言葉。伝わって欲しいのは想い・・・。

書く力

書く力→考える力を身につける

※話し方教室（セミナー）とのリンク

話すこと＝歩くこと

書く事＝走ること・・・歩くことと違っていきなり長距離は走れない。原稿用紙1枚(1km)なら書いても、10枚(10km)はなかなか厳しい。文章を書ける人とは原稿用紙10枚を書ける人。10枚書ければ、100枚でも1,000枚でも書ける。

練習・・・量をこなす

書く・・・イメージ豊かにストーリーを語れ（書け）。5w1h。細部描写の正確性。

- ・1日に書くノルマを決め、それを守る
- ・NB・・・読書は必要だが、書く事を恐れて読書ばかりというのは本末転倒
- ・小さな自信を積み重ねて欲を刺激する。欲は進歩への大きなエネルギーになる。
- ・15分程度のドラえもんを観て、それについて書く・・・人間関係を図にする（誰が何をしたか）→二人一組であらすじを三分で相手に話す×人を替えて三セット行う→書くテーマを一つ決める→書くポイントを三つ作る→二〇分で書く。
- ・引用・・・言葉やセリフを引用し、それについて自分がどういう刺激を受けたかコメントする。まず3箇所ほどPCに打ち込んでみる。
- ・書こうと思うことをゆっくり話しボイスレコーダーに録音→それを聞きながらPCに打ち込む。・・・流れができる。
- ・映画・・・あらすじを書く。気に言ったセリフを書く。
- ・起承転結なら、「転」か「オチ」をまず考える。
- ・書くための素材をあらかじめスマホ等にメモしておく
- ・批評・・・その作品とつながろうとしている読者に新たな出会いを提供すること。読者の視野を広げ、契機を与え、出会いの機会を与えること・・・価値を高め、価値あるものを見つけ、価値あるものを作り出すことに価値をおく
- ・価値を下げる文章→誹謗中傷、非難、苦情はNG

- ・読者と共感、一体感を大切に
- ・感想文…感想を書きなさい→面白いと思ったところを挙げなさい→大事だと思うところを3つ上げて、そのことについて書きなさい
- ・面白い…読者に気付きを与える。それまで繋がっていなかったものが繋がる。
- ・落語の三題噺…心技体
- ・レジュメ…書く前段階として構成や中に入る項目などをまとめたもの…骨組みとあらすじ。

実行計画→準備→展開→後始末

＜実行計画＞…文章の全体像構築…テーマ1つ(3つの性格の違うポイントを結びつけて、組み合わせて文章構築)。キーワードを拾い出してメモを作る。ネタがなんなのかはっきりさせる。優先順位。1本の大きな柱とその中に構成される3項目。

実行計画…原稿作成。ストーリーとイメージ、リハ(丸暗記はNG)

話の展開

準備…皆の注意喚起・認知→「ちょっと聞いて」

展開1…歩み寄り・Yesを引き出す→「寒いけど、いい天気だね」

※ここで相手からYesを引き出せなければ、以降は好意的に受け取ってもらえない可能性が上がる。

展開2…共感・分かち合う・一役買わせる・一体感・問題点提示→「そういえば、○○なことがあった。これは解決したい問題だよ」事例は5w1h、細部描写は正確に。イメージ豊かにストーリーを語れ!

展開3…解決策提案・未来提示→「解決して、こんな未来にしたいよね。こんな策で解決できるかも」

後始末…行動を促す・要約→「一言で言うと、こんなことが言いたかったんだ」「一票頼むよ」